

丈夫な血管 長生きのもと

今回は動脈が太くなる病気です。狭い場合は、運動時に十分な量の血液が送れない間欠性跛行の症状があります。太い場合

は、太い場合とはどうでしょうか。自覚症状はありますか。

大動脈という心臓につながる動脈が知ら

ないうちに拡張している人がいます。

大動脈が太くなり（大動脈瘤）、中を通る血液の圧（血圧）に耐えきれ

大動脈瘤①

楽になることと同じです。

なくなると破れると、大動脈破裂という病気で急死します。有名人では、物理学者のアインシュタイン、作家の司馬遼太郎がこれで亡くなりました。

先に言ったように大動脈瘤では特別の症状がありませんが、やせておなかへこんだ人では、あおむけになると心臓の拍動に合わせてドクンと膨らむものが臍の上辺りで触れることがあります。

自覚症状なく急死も

大動脈瘤の原因は分

かっていませんが、動脈硬化との関係が疑われています。血圧の高い人で

動脈瘤が大きくなりやすいことは、風船をふくら

大きく丸く触れるなら腹

大動脈瘤の可能性があります。胸大動脈瘤は肋骨

に囲まれた胸の中にあるので触れることはありません。

かありませんでした。

一九九〇年代からは、小さな切開で足の付け根の動脈を出して、そこから特殊な機器（ステントグラフト）を血管の中を通して挿入する方法もできるようになりました。

大動脈瘤の手術は、破裂してからは、破裂していない（症状のない）時よりも、死亡率が何倍も高くなります。

先生 尚道 錦見
(にしきみ・なおみち)



名古屋生まれ。東海高校・名古屋大学医学部卒業。大学院修了後、米国学。桐生厚生総合病院で研修中に血管外科を志望。名古屋第一赤十字病院血管外科部長。